

2022年3月20日

## 一般社団法人 壁装研究会「2022年度定期総会・2023年定期講演会」開催

(一社)壁装研究会は2022年度定期総会・定期講演会を3月20日(月) アキレス(株)本社大会議室にて開催した。

リモート併用会議で行われ全33社が出席した

総会で前田会長は、本年度は、防火基準の研究と人材育成事業に力を入れていくとした。防火の問題では、世界基準で見た日本規格の現況、防火規格ありきで高品位製品の開発に支障が出ている点などを検証していくとしている。

人材育成については、製造、流通、施工とも新規就業者の獲得に努めていただくと同時に、現有の壁装従事者各位にも、商品、施工の基本的な知識の向上を図ってもらいたいとし、本年度事業に新人研修会の充実、技能検定試験模擬問題集の発刊等を挙げた。

また、職人層の賃金、地位向上のための処遇改善活動にも力を入れていくとしている。



総会の様子

同時に開催された定期講演会では、講師に国土交通省不動産・建設経済局より大臣官房審議官笹川 敬氏を招き、「建設業を巡る今後の方向性について」と題した講演を行った。WEB 併用講演で会員以外の他の壁装団体からもリモート参加し52名が出席した。

講演では、

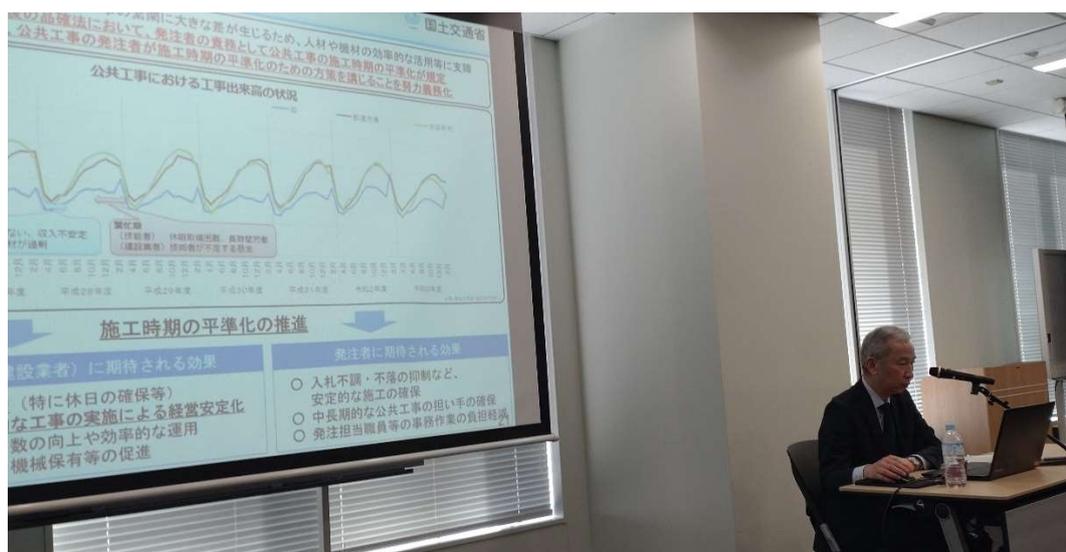
- ・働き方改革の推進…就業人口の低下、高齢化、適正な工期、時間外労働、週休2日。
- ・処遇改善(賃上げ)に向けた取り組み…労務単価 5.2%UP、建設キャリアアップ(CCUS) 制度とその反映。
- ・適正な請負代金、

・持続可能な建設業に向けた環境整備

等々について統計資料、グラフ等を用いて、具体的な懸案事項と解決課題の説明があった。



定期講演会



定期講演会



国土交通省不動産・建築経済局  
大臣官房審議官 笹川 敬氏